Nara Institute of Science and Technology
NAIST®

受験生のための大学案内

CAMPUS GUIDE
2022-2023

奈良先端科学技術大学院大学

多様性が紡ぎ出す最先端

奈良先端大には、学部がありません。理由があります。

学部がない本学には、さまざまな大学・学部で多様な分野を学んだ学生が集まります。
国内だけでなく、世界34の国や地域から学生を受け入れ、在学生の４人に１人は留学生です。
欧米の大学院とは対照的に学内進学者の多い日本の大学院の中で、奈良先端大の多様性は傑出しています。
多様性は、最先端研究を動かす力です。
異なる視点、アイデア、アプローチが集まり、トップレベルの研究者でもある教授陣と卓越した研究設備のもとで新発見や新技術が生まれ、その研究の中で学生それぞれが新しい価値を創造する主体性や協働性を身につけています。
あなたの個性と好奇心を奈良先端大は歓迎します。

学長　塩﨑　一裕

限りなき未知への探究

～最先端は奈良先端大から～

インターネット、マルチメディア、クローン、ゲノム、ナノテクノロジー…
これらは、20年前には一般の人が耳にすることもなかった用語。

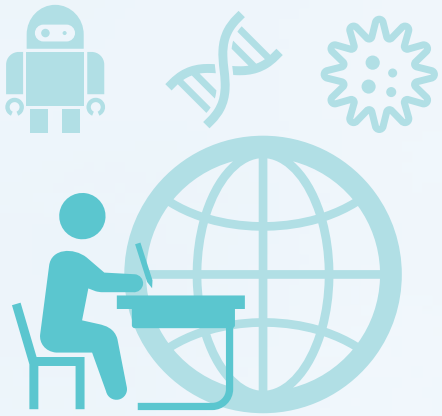
ここ10数年における科学技術の進展には目を見張るものがあります。
本学は、情報科学・バイオサイエンス・物質創成科学を基盤とした
“最先端”分野を学べる大学院大学。
最新のテクノロジーに対応した設備と実績豊かな教授陣を整えることにより、
輝かしい成果を挙げる一方、産業界にも優秀な研究者・技術者を輩出し続けています。
また、情報科学・バイオサイエンス・物質創成科学の3つの分野を
相互に関連する学問としてとらえた、総合的・体系的な教育にも力を入れています。
これからも「先端」の名にふさわしく、科学技術の発展に貢献しながら、
次世代に活躍できる人材を育成していきます。

CONTENTS

奈良先端大の魅力 ---------- 03
研究成果 ---------- 05
研究室一覧　情報科学領域 ---------- 09
　　バイオサイエンス領域 --- 11
　　物質創成科学領域 ------- 13
学習環境 ---------- 15
サポート ---------- 17
キャンパスライフ ---------- 19
5つの教育プログラム ---------- 21
ライフマップ ---------- 23
キャリアサポート ---------- 25
グローバルキャンパス ---------- 27
先輩からのメッセージ ---------- 29
博士後期課程の魅力 ---------- 31
キャンパス周辺マップ ---------- 33
入試情報 ---------- 35
学生募集イベント ---------- 37

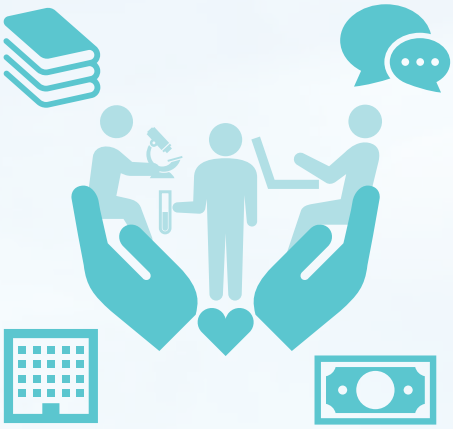
奈良先端大の魅力

トップクラスの研究力



国際的に活躍している教授陣、各分野で嘱望されている若手教員を擁し、卓越した業績をあげています。科学研究費補助金をはじめとする競争的外部資金の導入は、教員一人当たりでは国内トップクラスで、充実した研究環境を整備しています。多彩な経歴を持つ教員のきめ細やかな研究指導により、入学後の学生たちの研究活動も目覚ましく、在学中に様々な賞を受賞する学生も多いです。

研究に没頭できる手厚いサポート



入学した学生へは、1人1台のPCが割当てられ、世界最速レベルの通信環境で利用することができます。また、研究活動で困ったことがあれば、相談できる技術職員も常駐しております。経済面では、希望者のほとんどが日本学生支援機構の奨学金を受給しており、学生宿舎も隣設しております。学生生活も、経済面も、包括的に学生をサポートし、まさに研究に没頭できる環境を準備しています。

柔軟なカリキュラム

情報科学・バイオサイエンス・物質創成科学の3領域に加え、それらを融合したプログラムを設置した「5つの教育プログラム」により高度な専門性を修得することができます。また、修業年限を弾力化し、優れた研究業績を修めた者には短期修了、職業を有する等の事情により標準修業年限で終了することが困難な学生には長期履修制度など、それぞれの事情に沿った選択ができます。

就職率100%
グローバルリーダーの輩出

一人ひとりの希望に応じたキャリア支援・就職支援により就職率はなんと100%！
就職先も、国内外の誰もが知る大企業から、研究業績の目覚ましい研究機関まで学生それぞれのキャリアプランに沿って、多様化しております。ES作成講座や面接対策講座に加えて、企業の経営層や海外で活躍している研究者の後援会、修了生とのネットワーキングイベントなど視野を広げる機会を多数用意しています。

国内トップレベルの
グローバルキャンパス

グローバルリーダー育成のため、教育環境のグローバル化及びグローバル教育に積極的に取り組んでいます。戦略的に留学生を受け入れ、現在ではおよそ4人に1人が留学生です。多様な出身国や文化的背景を持つ学生及び教職員が共に学び、研究するグローバルキャンパスを実現するとともに、海外の教育研究機関との教育研究連携ネットワークを構築し、国際的な頭脳循環のハブとなることを目指しています。

世界レベルの研究成果の創出

奈良先端大は、科学研究費補助金をはじめ競争的外部資金の導入が、
教員一人当たりでは国内トップレベルです。
これにより潤沢な研究設備が揃い、
思う存分研究に没頭できる環境を整えています。
他大学・企業等における勤務経験を有する教員も多く、
また、民間企業等※との共同研究を行っている研究室もあり、
共同研究受入実績はなんと**185件！**（2020年度実績）
活発な研究活動により、世界レベルの研究成果を創出し続けています。
入学後は、このような最先端の研究に従事できるチャンスがあります！

※NTTドコモ、パナソニック他 多数

言語処理学会
2019年度
最優秀論文賞
受賞

関西NBCニュービジネスアワード2020
ビジネスプラン部門
最優秀賞
受賞

日本化学会
学術賞
受賞

DICOMO2020
最優秀論文賞
最優秀プレゼンテーション賞
受賞

第72回
日本細胞生物学会大会
若手優秀発表賞
受賞

- 文部科学大臣表彰　科学技術賞（研究部門）
- 国際会議SSS 2019 Best Student Paper Award
- The Plant Journal誌「TP」2018　「Outstanding Student Paper Award」
- 公益財団法人 日本農芸化学会「2020年度　日本農芸化学会賞」
- 第66回　応用物理学会春季学術講演会放射分科会学生ポスター賞
- 膜シンポジウム2019　学生賞
- HCGシンポジウム　学生優秀インタラクティブ発表賞
- 日本時間生物学会学術大会　優秀ポスター賞
- IEEE関西支部　学生研究奨励賞

※一部を抜粋。順不同

情報科学領域

インタラクティブメディア設計学研究室

加藤　博一 教授

［経歴］2007年 奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科・教授
2022年 同・デジタルグリーンイノベーションセンター・教授
学長補佐（キャンパスDX担当）

実　績

- メディアも注目する学生主導プロジェクト　朝日新聞掲載，2021
  「メイドさんの怒声、響く研究室　「ツンデレ」を国立大が究めたら」
- 学生が第一著者の高い被引用回数(Google Scholar)論文：
  IEEE TLTに投稿した論文が現在405回の引用を確認、
  RPTELに投稿した論文は現在158回の引用を確認。
- VRに関する国際的に権威のある賞を日本人初受賞：
  Virtual Reality Technical Achievement Award, IEEE vgTC, 2009

研究室紹介／奈良先端大の魅力について

私が主宰するインタラクティブメディア設計学研究室では、AR・VR・ロボット技術を活用したヒューマンインタフェースに関する研究を行っています。「社会の役に立つ」という考えを重視し、基礎研究から応用研究まで実施しています。最近は、高齢者・医療・スポーツ分野での応用研究に焦点をあてています。国際的に通用する研究を意識しつつも学生の主体性を尊重した研究テーマ設定を行っています。また、学位論文研究以外への挑戦（学生主導型研究や起業にむけた活動）も推奨しています。国際性も豊かで、研究室内では英語も標準的に使われています。様々な学部・学科を卒業した学生さんが、各自の特徴を活かしながら、協力して研究活動に励んでいます。本学では、世界トップレベルの教授陣と気楽に議論したり、最先端の設備を自由に使ったり、バックグラウンドの異なる学生さんが互いに意見しあって各自の研究力を磨いたり、一緒に独創的なプロジェクトに挑戦できる環境が整っています。

ヒューマンロボティクス研究室

和田　隆広 教授

［経歴］2021年 奈良先端科学技術大学院大学・教授

実　績

- The Finalist for Best Paper Award,
  IEEE International Conference on Systems, Man,
  and Cybernetics, 2019
- 計測自動制御学会 システム情報部門優秀論文賞，2016
- 第61回自動車技術会賞論文賞，2011

研究室紹介／奈良先端大の魅力について

遠隔操縦型ロボット、パワーアシストシステム、義足や乗物（自動車、建機etc）など、人間の機能・能力を補助・増強する知能機械システム／ロボットの高度化に関する研究を行っています。この実現のため、1）ロボティクス：機械システムの運動情報の理解に基づく機械システムの知能化、2）ヒューマンモデリング：システム論など情報技術に基づいた人間の感覚・運動特性のモデリング、とこれらを組み合わせた3）ヒューマンマシンシステム：違和感なく人間と機械を組み合わせる技術、について研究を進めています。乗物酔い推定モデルや、使いやすく快適な自動運転車（安全な運転引継ぎ、酔い低減）、水中ロボットの協調制御、ロボットによる器用な物体操作が最近の研究例です。
奈良先端大の研究環境の良さは全国有数です。研究生活を満喫している優秀な院生達と共に研究設備・環境を準備して、自らの力を飛躍的に伸ばしたいという熱意溢れる皆さんを待っています。

バイオサイエンス領域

バイオエンジニアリング研究室

加藤　晃 教授

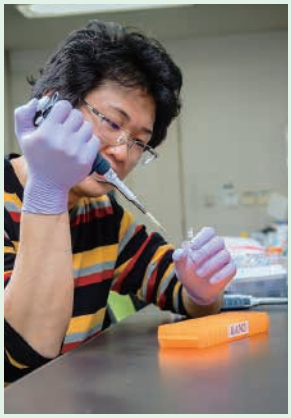
［経歴］1996年 奈良先端科学技術大学院大学・助手（助教）
2016年 同・准教授
2021年 同・教授

実　績

- Ueno D. et al., BMC Bioinform., 22, 380, 2021
  無細胞タンパク質合成試薬の商品化, 2021
  日本植物細胞分子生物学会論文賞, 2019

研究室紹介／奈良先端大の魅力について

研究室では、バイオテクノロジーによる社会貢献を念頭に、特に植物の遺伝子発現制御機構を理解し、バイオ医薬品などの有用タンパク質を植物で高生産するための基盤技術の開発や、表現型を制御する仕組みの解明を行っています。配属された学生自身が研究を論理的に理解し、知識の裾野を広げ発展させていけるように指導を行っています。また、定期的な研究室ミーティングに加えて、産業界から研究者・実務者を招き、企業での研究開発に必要な知識を紹介しています。これらの指導を通して、低成長・グローバル社会で幅広く活躍できる人材の育成を目指しています。
大学院大学である奈良先端大には、多様なバックグランドを持った学生が入学してきます。また、情報・バイオ・物質の3領域間の垣根が低く、異分野融合型の研究開発も活発に進められています。皆さんには、このような教育・研究環境を十分に活用して、奈良先端大で自身の更なるスキルアップを目指してもらいたいと思っています。



分子免疫制御研究室

河合　太郎 教授

［経歴］2013年 奈良先端科学技術大学院大学・准教授
2016年 同・教授

実　績

- Sok SPM, Ori D, Wada A, Okude H, Kawasaki T, Momota M, Nagoor NH, Kawai T. 1'-Acetoxychavicol acetate inhibits NLRP3-dependent inflammasome activation via mitochondrial ROS suppression. Int Immunol. (2021) 33:373-386.
- Kawasaki T, Ito K, Miyata H, Akira S, Kawai T. Deletion of PIKfyve alters alveolar macrophage populations and exacerbates allergic inflammation in mice. EMBO J. (2017) 36:1707-1718.
- Kitai Y, Kawasaki T, Sueyoshi T, Kobiyama K, Ishii KJ, Zou J, Akira S, Matsuda T, Kawai T. DNA-containing exosomes derived from cancer cells treated with Topotecan activate a STING-dependent pathway and reinforce antitumor immunity. J Immunol. (2017) 198:1649-1659.

研究室紹介／奈良先端大の魅力について

当研究室は、自然免疫に関する研究を行っています。自然免疫はウイルス等の病原体の感染をいち早く察知し排除する免疫機構の一つです。自然免疫の働きにより、身体全体の免疫力が強化されることから、ワクチンの開発においても注目されています。一方、自然免疫の仕組みが遺伝や環境により破綻すると、サイトカインストームや自己免疫疾患を引き起こす場合があります。私たちは、自然免疫の仕組みやその破綻機構の解明に加え、mRNAやDNAといった核酸を用いたワクチンや自然免疫細胞の移植を用いた新たな免疫賦活化技術の開発といった応用研究も行っています。奈良先端大には免疫以外にも多様な研究室が揃っており、どの研究室もトップクラスの成果を出しています。この原動力となっているのが、学内共同研究を実施しやすいオープンな雰囲気や、日本・世界中から集まってくる多様な学生さんです。他の大学にはないこの独自の研究環境が本学の魅力となっています。

物質創成科学領域

有機エレクトロニクス研究室

中村　雅一 教授

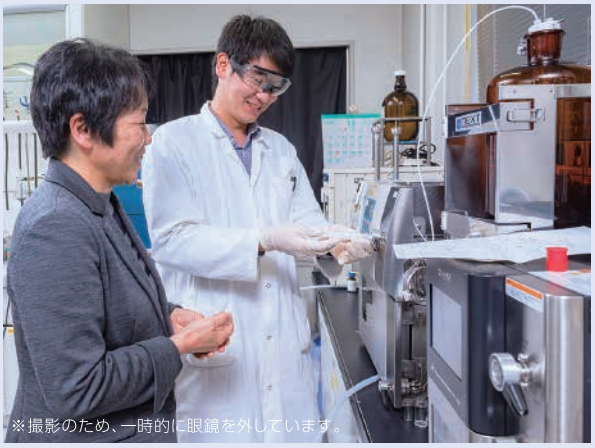
［経歴］2011年 奈良先端科学技術大学院大学・特任教授
2015年 同・教授
2019年 学長補佐（広報担当）
2017-2019年 応用物理学会理事（機関誌編集委員長）

実　績　※学生による受賞

- 10th International Conference on Molecular Electronics and Bioelectronics　Student Presentation Award
- 第76回応用物理学会秋季学術講演会　講演奨励賞
- International Conference on Organic Materials for Electronics and Photonics　Young Poster Award

研究室紹介／奈良先端大の魅力について

学問としての有機エレクトロニクスは物理と化学と電子工学の融合領域であり、有機低分子やポリマーの電子物性や光電子物性を理解し制御することを目的とする分野です。応用面では、すでに広く普及している有機EL（OLED）だけでなく、次世代の電子デバイスである様々なフレキシブル／ストレッチャブルデバイスを生み出すためのキーテクノロジーであると言えます。
このような背景から、当研究室のスタッフや学生は様々な専門分野から集まっており、心柱となる学部時代に学んだ専門知識に加えて幅広い関連分野の知識を得ることができます。新奇性の高い未来技術を生み出すためにも、高い柔軟性を持った研究者／技術者として育つためにも、最適な場所であると思います。
奈良先端大には、新しい分野を切り開く挑戦的な研究者を応援する文化があります。
学部時代とは異なる分野で勉学と研究に取り組む学生も応援しています。
ぜひ、皆さんも魅力的な新分野を見つけて、飛び込んで下さい。



※撮影のため、一時的に眼鏡を外しています。

機能有機化学研究室

山田　容子 教授

［経歴］2011年 奈良先端科学技術大学院大学・准教授
2012年 同・教授
2015年 学長補佐（男女共同参画担当）
2021年 学長補佐（教育担当）
2006−2010年 JST さきがけ研究者（兼任）

実　績

- 博士前期課程NAIST最優秀学生賞受賞（2019, 2020年度）
- 炭素原子17個分の幅を持つグラフェンナノリボン基板上合成に世界で初めて成功。
  Top 15 of Communications Materials in 2020（プレスリリース）
- 前駆体法による高次アザアセンの合成と1分子観測、電子構造の解明に成功。
  Nat.Commun.2022,Editor's Highlight.

研究室紹介／奈良先端大の魅力について

有機化合物は自然界の色素や生体物質から、医薬品、発光材料、有機エレクトロニクス材料に至るまで、生命の根源を司ると同時に豊かで健康な生活を支える重要な物質です。ひとつの新しい化合物の発見が世界を大きく変えることは、歴史が証明しています。私たちは、機能性有機材料のデザイン、合成、結晶構造解析や分光測定、自己組織化と薄膜構造制御、有機薄膜太陽電池や有機薄膜トランジスタデバイスの特性評価まで、すべて自分たちの手で行なうことができる、日本でも数少ない研究室のひとつです。研究室や大学の充実した装置を自在に使いこなし、自分で合成した魅力あふれる化合物たちの能力を最大限に引き出し発信する、そんな思いで毎日研究しています。もちろん、国内外で最先端研究を行っているグループとの共同研究も活発です。自然豊かな環境で、多くのスタッフや先輩と心置き無く議論し、思う存分研究に没頭できる奈良先端大で、あなたオリジナルの化合物を世界に届けましょう。

情 報 科 学 領 域

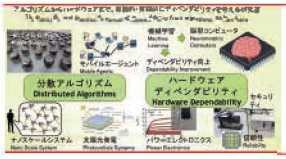
Society5.0の実現、SDGsの達成のキーテクノロジーとなる情報科学、およびその関連分野において、若い研究者が力量を発揮できる環境を整備し、日本と世界の情報基盤を支える突出した研究成果の創出と、高度な専門性を身につけた研究者・技術者の育成を目指しています。

基幹研究室

コンピューティング・アーキテクチャ研究室

中島　康彦 教授

ディペンダブルシステム学研究室



井上　美智子 教授

ユビキタスコンピューティングシステム研究室

安本　慶一 教授

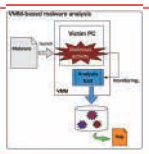
ソフトウェア工学研究室

松本　健一 教授

ソフトウェア設計学研究室

飯田　元 教授

サイバーレジリエンス構成学研究室



門林　雄基 教授

情報セキュリティ工学研究室

林　優一 教授

情報基盤システム学研究室

藤川　和利 教授

自然言語処理学研究室

渡辺　太郎 教授

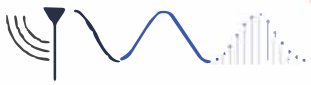
知能コミュニケーション研究室

中村　哲 教授

ソーシャル・コンピューティング研究室

荒牧　英治 教授

ネットワークシステム学研究室



岡田　実 教授

インタラクティブメディア設計学研究室

加藤　博一 教授

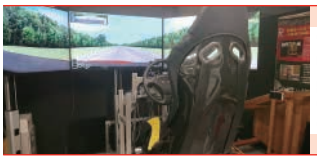
光メディアインタフェース研究室

向川　康博 教授

サイバネティクス・リアリティ工学研究室

清川　清 教授

ヒューマンロボティクス研究室

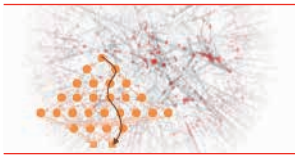


和田　隆広 教授

ロボットラーニング研究室

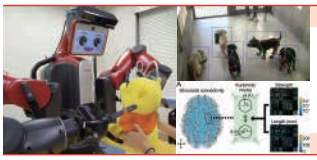
松原　崇充 教授

大規模システム管理研究室



笠原　正治 教授

数理情報学研究室



池田　和司 教授

生体医用画像研究室

佐藤　嘉伸 教授

計算システムズ生物学研究室

金谷　重彦 教授

計算行動神経科学研究室

NEW!

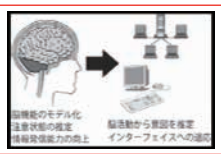
田中　沙織 教授

連携研究室

コミュニケーション学研究室

岩田　具治 客員教授

計算神経科学研究室



川鍋　一晃 客員教授

ヒューマンウェア工学研究室

佐藤　佳州 客員教授

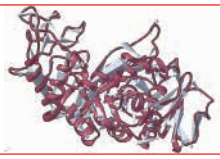
シンビオティックシステム研究室

石山　塁 客員教授

光センシング研究室

諏訪　正樹 客員教授

生体分子情報学研究室



富井　健太郎 客員教授

デジタルヒューマン学研究室

多田　充徳 客員教授

セキュアソフトウェアシステム研究室

大岩　寛 客員教授

ネットワーク統合運用研究室

小林　和真 客員教授

超高信頼ソフトウェアシステム検証学研究室

片平　真史 客員教授

データ駆動知識処理研究室

鳥澤　健太郎 客員教授

多言語ナレッジコンピューティング研究室

湯上　伸弘 客員教授

ロボット対話知能研究室

NEW!

吉野　幸一郎 客員教授

マルチモーダル環境認識研究室

NEW!

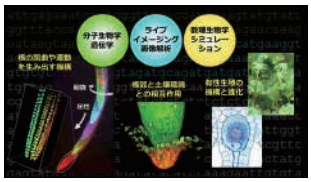
川西　康友 客員教授

バイオサイエンス領域

植物にフォーカスして生命・環境・資源・食糧等諸問題の解決に迫る「植物科学」、生命機能の基礎研究から疾患原因解明の応用研究まで行う「メディカル生物学」、革新的な科学技術の創造を目指す「統合システム生物学」の3分野で、生命科学の最先端を研究しています。

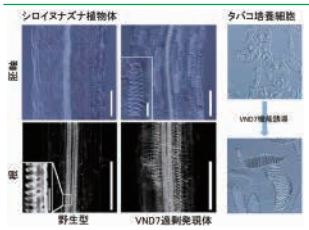
基幹研究室

植物発生シグナル研究室



中島　敬二 教授

植物代謝制御研究室



出村　拓 教授

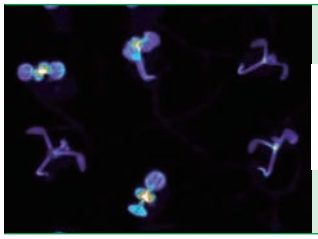
植物成長制御研究室

梅田　正明 教授

花発生分子遺伝学研究室

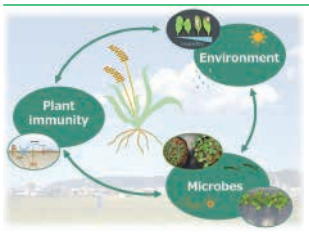
伊藤　寿朗 教授

植物生理学研究室



遠藤　求 教授

植物免疫学研究室



西條　雄介 教授

植物共生学研究室

吉田　聡子 教授

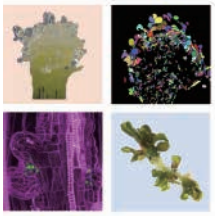
バイオエンジニアリング研究室

加藤　晃 教授

植物二次代謝研究室

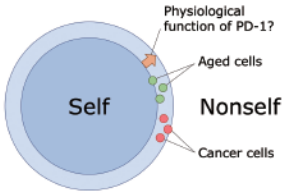
峠　隆之 准教授

植物再生学研究室



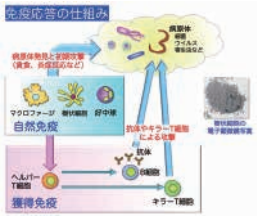
池内　桃子 特任准教授

機能ゲノム医学研究室



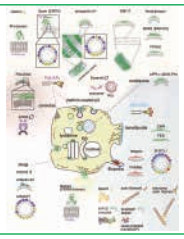
石田　靖雅 准教授

分子免疫制御研究室



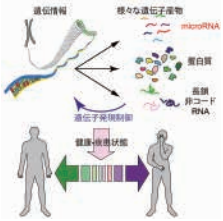
河合　太郎 教授

分子医学細胞生物学研究室



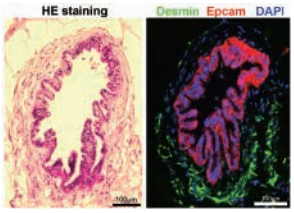
末次　志郎 教授

RNA分子医科学研究室



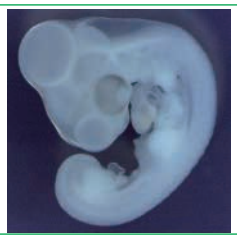
岡村　勝友 教授

幹細胞工学研究室



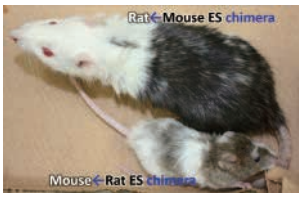
栗崎　晃 教授

発生医科学研究室



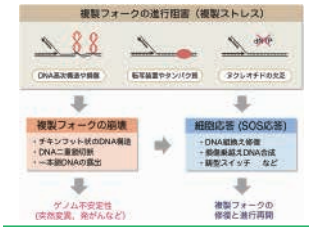
笹井　紀明 准教授

器官発生工学研究室



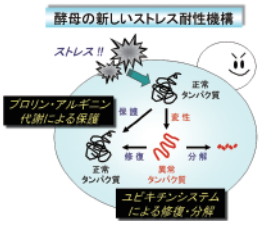
磯谷　綾子 准教授

原核生物分子遺伝学研究室



渡辺　大輔 准教授

ストレス微生物科学研究室

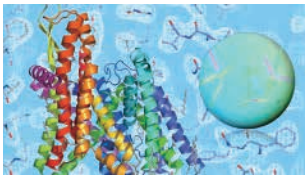


渡辺　大輔 准教授

環境微生物学研究室

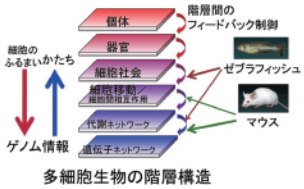
吉田　昭介 特任准教授

構造生命科学研究室



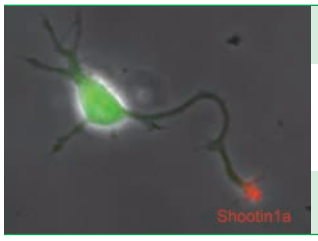
塚崎　智也 教授

遺伝子発現制御研究室



別所　康全 教授

神経システム生物学研究室



稲垣　直之 教授

データ駆動型生物学研究室

作村　諭一 教授

連 携 研 究 室

微生物分子機能学研究室

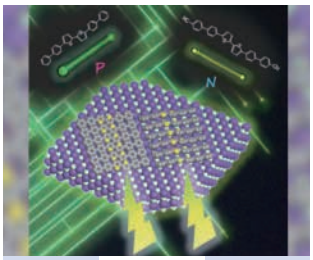
乾　将行 客員教授

物質創成科学領域

物質の仕組みを電子、原子、分子レベルで深く理解し、新しい素材や構造、機能の開発・創造を目指します。基礎重視・応用奨励の研究が生む成果を新理論の構築、新現象の発見、新機能材料の創成などに結実させ、未来の開拓にグローバルに貢献することが期待されています。

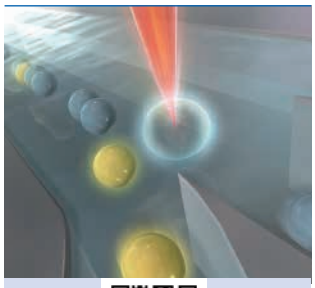
基幹研究室

量子物性科学研究室



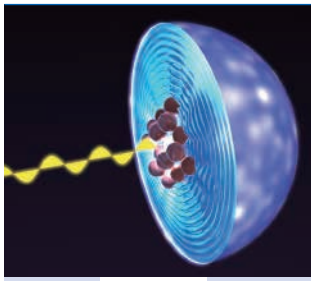
柳　久雄 教授

生体プロセス工学研究室



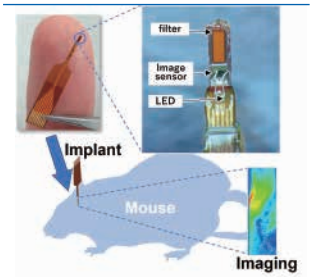
細川　陽一郎 教授

物性情報物理学研究室



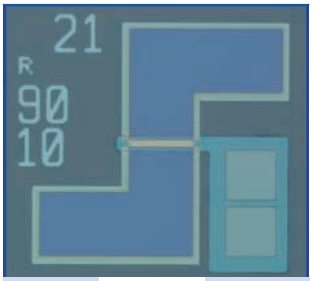
松下　智裕 教授

光機能素子科学研究室



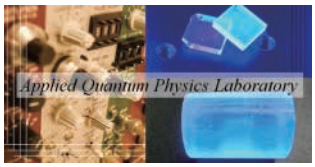
太田　淳 教授

情報機能素子科学研究室



浦岡　行治 教授

量子物理工学研究室

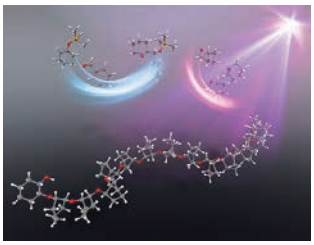


柳田　健之 教授

有機エレクトロニクス研究室

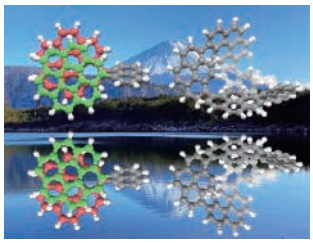
中村　雅一 教授

光反応分子科学研究室



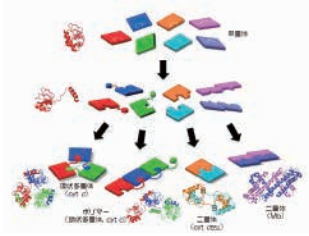
河合　壯 教授

機能有機化学研究室



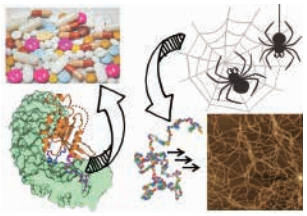
山田　容子 教授

機能超分子化学研究室



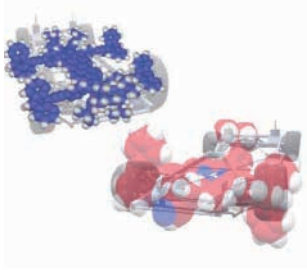
廣田　俊 教授

分子複合系科学研究室



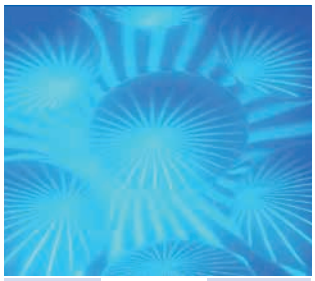
上久保　裕生 教授

バイオ・テクノミメティック分子科学研究室



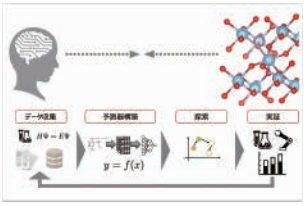
ラッペン　ゲナエル 教授

ナノ高分子材料研究室



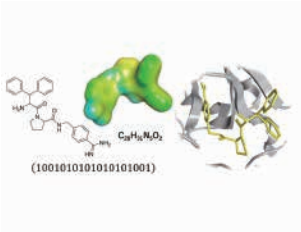
網代　広治 教授

マテリアルズ・インフォマティクス研究室



藤井　幹也 教授

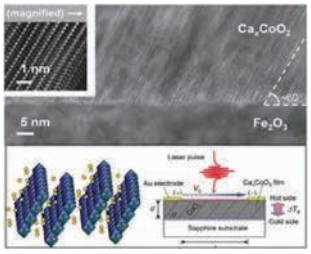
データ駆動型化学研究室



宮尾　知幸 准教授

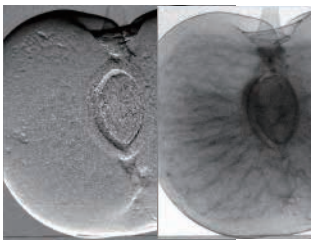
連 携 研 究 室

メゾスコピック物質科学研究室



内藤　康幸 客員教授

感覚機能素子科学研究室



北村　圭司 客員教授

環境適応物質学研究室

余語　克則 客員教授

先進機能材料研究室

高橋　雅也 客員教授

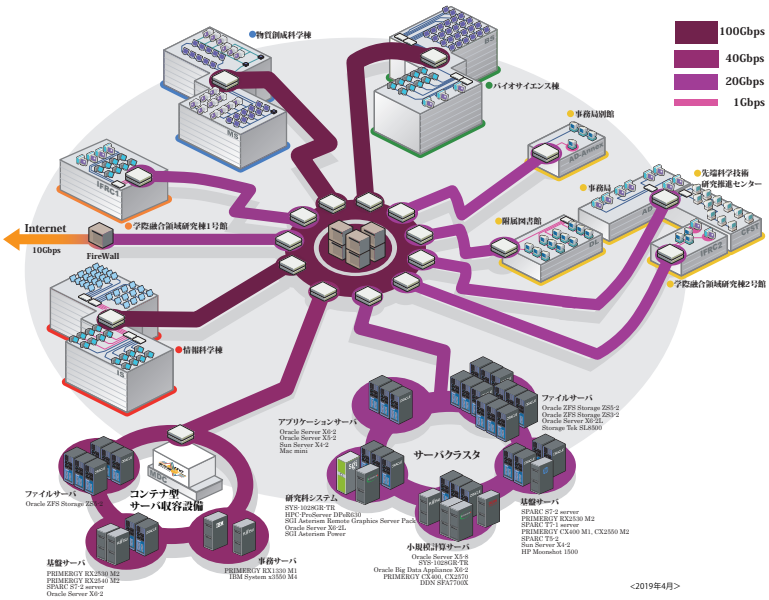
学習環境

1人1台PCを設定

本学では学生に対して1人1台の端末が割当てられます。専攻科目や利用方法に応じてノート型(Mac)、デスクトップ型(Mac、Windows)など複数の環境を用意しており、Microsoft Officeなどさまざまなアプリケーションが利用できます。これらの端末は総合情報基盤センターの集中管理によりインストールされているソフトウェアのバージョンアップが実施され、どの端末を利用しても全く同一の環境となっています。

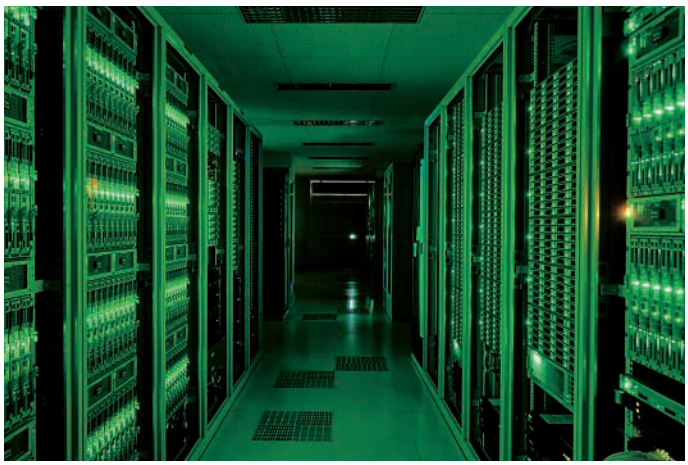
世界最速レベルのネットワーク環境

「曼陀羅ネットワーク」という本学独自のネットワークを使用しています。曼陀羅ネットワークでは、幹線100ギガビット毎秒、支線40ギガビット毎秒という世界最速レベルの環境を提供しております。また、キャンパス全域で450メガビット毎秒の無線LANも使用できます。インターネットにも対外10ギガビット毎秒の高速専用回線で接続しており、国内外の主要サイトと超高速通信が可能です。



大規模で複雑な科学技術計算を可能にする最先端の計算サーバ群

本学では大規模で複雑な科学技術計算を行うために、Oracle Big Data Appliance 、Oracle Server X5-8 、SuperServer SYS-1028GR-TRなど最先端の計算サーバ群が提供されており、本学構成員は研究用途に応じて自由にこれらの計算機環境を利用することができます。より広範な利用用途、各種アプリケーション利用を可能とするために仮想化技術が導入されており、これらの計算サーバ群により利用者自身が計算機環境を自由に構築でき、より高度な研究活動に打ち込むことができます。



24時間利用可能な電子図書館と来館型図書館の併設

附属図書館は、本学の教育・研究活動を支援するため「電子図書館」を構築し、電子ジャーナル、電子ブックをはじめ授業ビデオや学位論文等の学術情報を迅速に提供しています。来館型サービスとしては、紙媒体の文献や視聴覚資料はもちろん、「マルチメディアラウンジ」等の新しいスタイルの学びの場も提供しています。また、他大学図書館・国立国会図書館・奈良県立図書情報館とも連携し、幅広いサービスの充実に努めています。

安心の研究サポート

研究をサポートすべく、デジタルグリーンイノベーションセンター、データ駆動型サイエンス創造センター、遺伝子教育研究センター、物質科学教育センターを設立し、研究に没頭すべく環境の整備を行っています。
なお、個人常用PCで作成した研究データは、大容量データストレージに割り当てられた個人専用スペースに保存されます。データのバックアップも毎日自動で実施されており、データ消失がない情報環境が提供されています。

保護者からのメッセージ

**研究力だけでなくコミュニケーション能力も磨いてほしい。
奈良先端大に期待しています。**

自分自身の将来のために専門的なことを学べるならと思い、進学の意思を見守ってきました。本人がやりたいと思うことを学べる環境が一番ですので、大学院の選択はすべて任せていました。奈良先端大はハイレベルな研究ができると聞いています。優秀な先生や学生に囲まれ、多様性の豊かな環境で、研究力はもちろん、コミュニケーションスキルを磨いてほしいと思います。子どもの話を通して、学内のサポート体制が整い、安心して研究に打ち込める環境が用意されているようですし、さらに学生の可能性を引き出すための機会や、博士後期課程に進む学生のサポートをより充実していただけると、親としても、子どもの学生生活の充実を期待できるのではないでしょうか。

博士前期課程1年　小出 ゆりさんの保護者
小出 亜希子さま より

手厚いサポート

本学では、学生が教育・研究活動に専念することができるよう、
大学をあげて、最大限の支援を実施しています。

入学金　282,000円

授業料　267,900円／学期（1学年2学期制）

経済的困窮者に対する入学料/授業料免除制度

経済的困窮者は申請により、入学料、授業料の全額又は一部を免除する制度があります。
授業料免除制度については、本学の定める免除基準（家計基準及び学業基準）を満たす学生は、過去5年間（2017-2021）全員免除（全額又は一部）されています。

日本学生支援機構貸与奨学金

学業・人物共に優秀であり、かつ経済的理由により、修学が困難であると認められる場合には本人の出願に基づいて選考の上、奨学金が貸与されます。

積極的な海外派遣支援

共同研究、寄付金等の外部資金や各種競争的資金、支援財団による助成事業等により、学生が海外の国際学会において論文（研究）発表するための費用（渡航費、滞在費、海外旅行保険費等）に対する助成や、英語研修や研究活動のために海外の機関への派遣を積極的に行っています。

学生なんでも相談

本学は、学生のキャンパスライフが快適であることを願っています。しかし、様々な問題や悩みに直面した学生を支援するため、相談員を配置し「学生なんでも相談」窓口を設けています。相談員が問題解決へのアドバイスのほか、内容によっては適切な相談窓口を紹介しています。

学生宿舎

本学では709戸の学生宿舎を用意しています。
学生宿舎へ入居することが十分な研究時間の確保と経済的な負担の軽減の一助となっています。
24時間体制で研究活動をサポートするため、宿舎にいながらでも、附属図書館や国内外の学術研究機関のネットサービスを利用できるネット環境を提供しています。
駐車場も併設されており、利用希望者のほぼ全員が割当を受けています。

	年度	博士前期課程	博士後期課程
入居率	2021	80%	100%

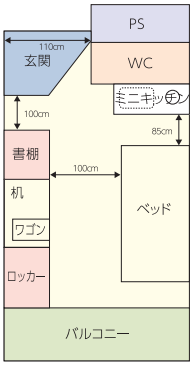
※入居率＝入居許可者／入居希望者（留学生を除く）
※次年度の入居率は状況により変化します。

学生宿舎への優先入居について

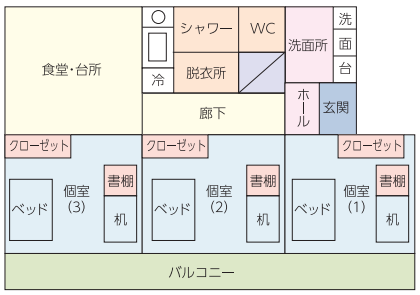
優秀な博士前期課程学生（主に入学試験の成績をもとに決定）、博士後期課程への進学意欲の高い博士前期課程学生（5年一貫コース所属予定学生）に対し優先的に学生宿舎を提供しています。

〈部屋の種類〉

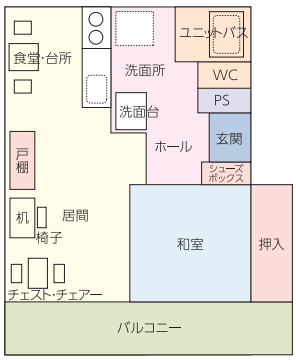
	単身用	シェアタイプ	夫婦用	家族用
居室数	559室	90室	50室	10室
居室面積	13㎡	9～10㎡	36.98～41.45㎡	51.56㎡
設備等	机、ベッド、ミニキッチン、トイレ等	机、ベッド、エアコン等	机、キッチン、トイレ、浴室、洗濯機等	机、キッチン、トイレ、浴室、洗濯機等
共有設備	浴室、ランドリー室、ラウンジ	キッチン、トイレ、浴室、洗濯機等	—	—
寄宿料（共益費込み）	月額　10,000円	月額　10,000円	月額　12,500円～13,000円	月額　15,300円
光熱水料	入居者負担	入居者負担	入居者負担	入居者負担
インターネット回線	無料	無料	無料	無料



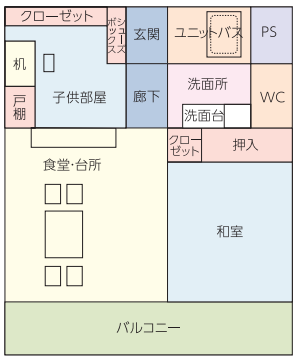
単身用宿舎居室



シェアタイプ宿舎居室



夫婦用宿舎居室



家族用宿舎居室

単身用宿舎居室

単身用宿舎（シェアタイプ）居室

単身用宿舎（シェアタイプ）共用部

夫婦用宿舎居室

夫婦用宿舎台所

大学借り上げ住宅（ UR賃貸住宅 ）

学生宿舎への入居が叶わなかった方、また入居を希望されない方の下宿探しの一助として、大学周辺の（独）都市再生機構の賃貸住宅（中登美第三団地、平城第一団地、富雄団地）を大学が借り上げ、希望者に定価の10%OFFの家賃で提供しています。

■家賃等の目安
●間　取：1DK ～3DK
●家　賃：3万5千～5万円
●共益費：3千円前後
●保証金：なし

1DAYスケジュール

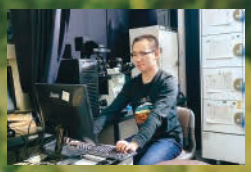
宿　舎　編　近くて便利。すぐに実験を始められます。

- 8:00 起床
- 9:30 研究室到着
- 12:00 昼食
- 13:00 実験の続き・論文を読む
- 18:00 宿舎に帰宅・夕食作り
- 20:30 動画視聴
- 21:30 英語やプログラミングの勉強
- 23:30 就寝

朝食、軽い運動、読書などで過ごします。

バスケットボールNBAを観ることが多いです。

世界での活動や新たな分野に挑戦することになった場合に備えて。



研究室に近くて、生活設備が整っているので宿舎を選びました。日本に留学して6年、朝夕の運動と毎食サラダを入れるなど健康に気をつけています。重要な実験ほど朝早くから取りかかるため、睡眠時間を十分に取り、朝～午前中はシャキッとしておこうと心がけています。午後はルーティン的な作業をこなすことが多いです。帰宅後は英語やプログラミング等を勉強し、自己研鑽に励んでいます。

冷昱(Leng Yu) さん
- ▶博士前期課程2年
- ▶バイオサイエンス領域 植物生理学研究室所属
- ▶中国・雲南省出身
- ▶東京大学を経て進学

黒崎　真帆 さん
- ▶博士前期課程2年
- ▶物質創成科学領域 物性情報物理学研究室所属
- ▶愛知県出身
- ▶立命館大学卒

通　学　編　研究室と一人暮らしは“緩急”で両立。

- 8:00 起床・身支度
- 9:00 通学
- 10:00 研究・ラボミーティング
- 12:00 昼食
- 13:00 研究・論文紹介など
- 19:00 研究室仲間と雑談
- 21:00 帰宅
- 25:00 就寝

学研北生駒駅からはバス（1時間に1本）か徒歩（約25分）

学食、スーパーの弁当・総菜、コンビニなどまちまちです。

自炊の場合は帰宅後に作ります。辛い料理が好きです。

近鉄沿線で一人暮らしをしています。その日の研究成果を振り返る時間は充実感があり、また、一日の研究を終えて研究室で雑談をしている時間もとても落ち着きます。普段から緩急をつけることを大切にしています。家では研究のことをあまり考えないようにしていて、帰宅後は動画配信サイトの猫の動画でホッとしています。研究を頑張ったときや行き詰まったときは、おいしいものを食べたり、早く寝たりして、気持ちを切り替えます。

Campus Map

❶事務局
❷附属図書館（電子図書館）
❸大学会館・コンビニエンスストア
・保健管理センター
❹学際融合領域研究棟2号館
❺ミレニアムホール
❻ゲストハウスせんたん
❼情報科学棟
データ駆動型サイエンス創造センター
総合情報基盤センター
❽バイオサイエンス棟
遺伝子教育研究センター
デジタルグリーンイノベーションセンター
❾動物飼育実験施設
❿植物温室
⓫物質創成科学棟
物質科学教育研究センター
⓬バイオナノプロセス実験施設
⓭学際融合領域研究棟1号館
⓮学生宿舎
⓯職員宿舎
⓰事務局別館
⓱グラウンド
⓲テニスコート
⓳バスケットボールコート

高山サイエンスタウン駐車場 定期駐車券【本学学生】

1ヶ月 1,500円　3ヶ月 4,000円
6ヶ月 7,500円

※駐車場の申込みは、大学会館売店（コンビニエンスストア）、本学支援財団事務所（高山サイエンスプラザ内）にて。
※定期駐車券は、駐車スペースの確保を約束するものではありません。

福利厚生施設

■大学会館❸
食堂、喫茶室、多目的スペース（イートインスペース、ベビールーム等）を設けています。宅配便ロッカーもあり、24時間受取可能です。

■コンビニエンスストア❸
食料品のほかにも、公共料金支払い、宅配便（ヤマト運輸）の発送・受取、クリーニングの取次ぎを行っています。
●営業時間
月～金曜日／8:00～21:00
土曜日・日曜日・祝日／9:00～17:00

■保健管理センター❸
内科医師及び看護師が常駐しており、定期健康診断、応急処置、カウンセリング等を行っており、談話室、休養室も設けています。

■ミレニアムホール❺
入学式や学位記授与式などの式典や、会議、講演などを行うことができる多目的ホールです。

■ゲストハウスせんたん❻
学内外の方が利用できる福利厚生施設です。宿泊施設は受験生も利用することができます。（有料）
●利用申し込みは、人事課福利厚生係（0743-72-5033）まで。

■グラウンド⓱

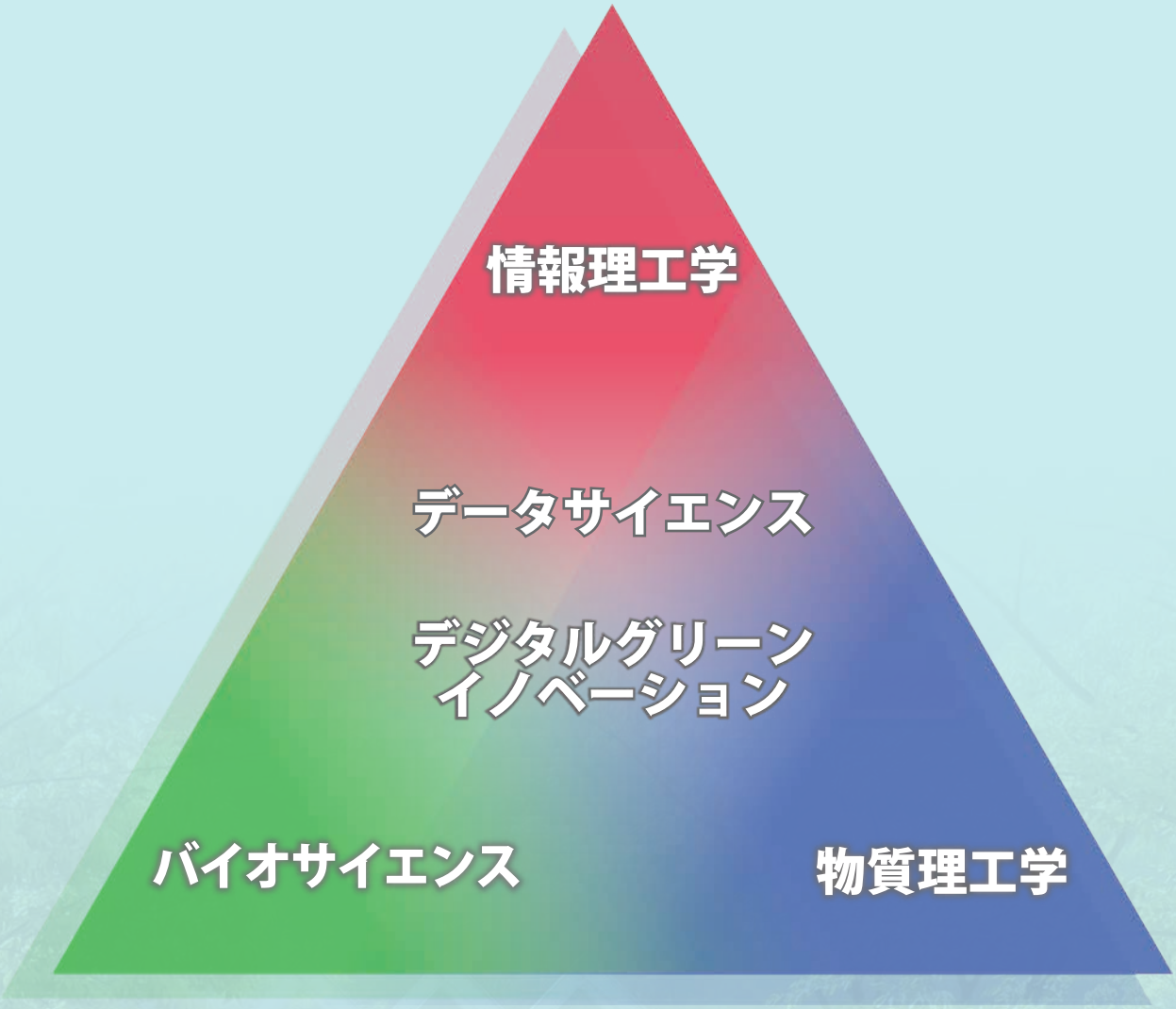
■テニスコート⓲

■バスケットボールコート⓳

運動施設　大学敷地内にグラウンド、テニスコート、バスケットボールコートがあります。お昼休みや、研究の合間のリフレッシュに自由に使うことができます。

5つの教育プログラム

博士前期課程に入学された方に、
次の5つの教育プログラムを
用意しています。



情報理工学プログラム

情報科学を主体とするプログラム

コンピュータ本体及び情報ネットワークに関する技術、コンピュータと人間のインタラクション及びメディアに関する技術、ロボット等コンピュータを駆使する各種システムに関する技術など、広い視野と高度な専門性を備え、様々な分野で情報科学技術の高度化やその多面的な活用により、高度情報化社会を支える人材を育成します。

取得できる学位

修士・博士
（工学／理学）

バイオサイエンスプログラム

バイオサイエンスを主体とするプログラム

動物・植物・微生物について、生命現象の基本原理から生物の多様性まで、幅広い分野の最先端の知識と技術を備え、環境・エネルギー・食糧・資源や健康・長寿等に関わる研究開発を通して、人類の発展と地球環境の保全に貢献する人材を育成します。

取得できる学位

修士・博士
（バイオサイエンス）

物質理工学プログラム

物質創成科学を主体とするプログラム

固体物性学、デバイス工学、分子化学、高分子材料、バイオナノ理工学などを横断する教育プログラムにより、物質科学に関する基盤知識と専門性を活かすための高度な知識を持ち、人類の豊かな生活の維持と社会の発展を支える次代の科学技術の担い手となる人材を育成します。

取得できる学位

修士・博士
（工学／理学）

データサイエンスプログラム

情報科学、バイオサイエンス、物質創成科学の融合プログラム

情報科学、バイオサイエンス、物質科学に関わるデータ駆動型科学、AI駆動型科学の最先端の幅広い知識と高度な専門性を備え、蓄積された膨大なデータの処理、可視化、分析を通じてその奥に隠れた「真理」や「価値」を引き出して、次代の科学・技術の進歩や社会の発展に貢献できる人材を育成します。

取得できる学位

修士・博士
（工学／理学／
バイオサイエンス）

デジタルグリーンイノベーションプログラム

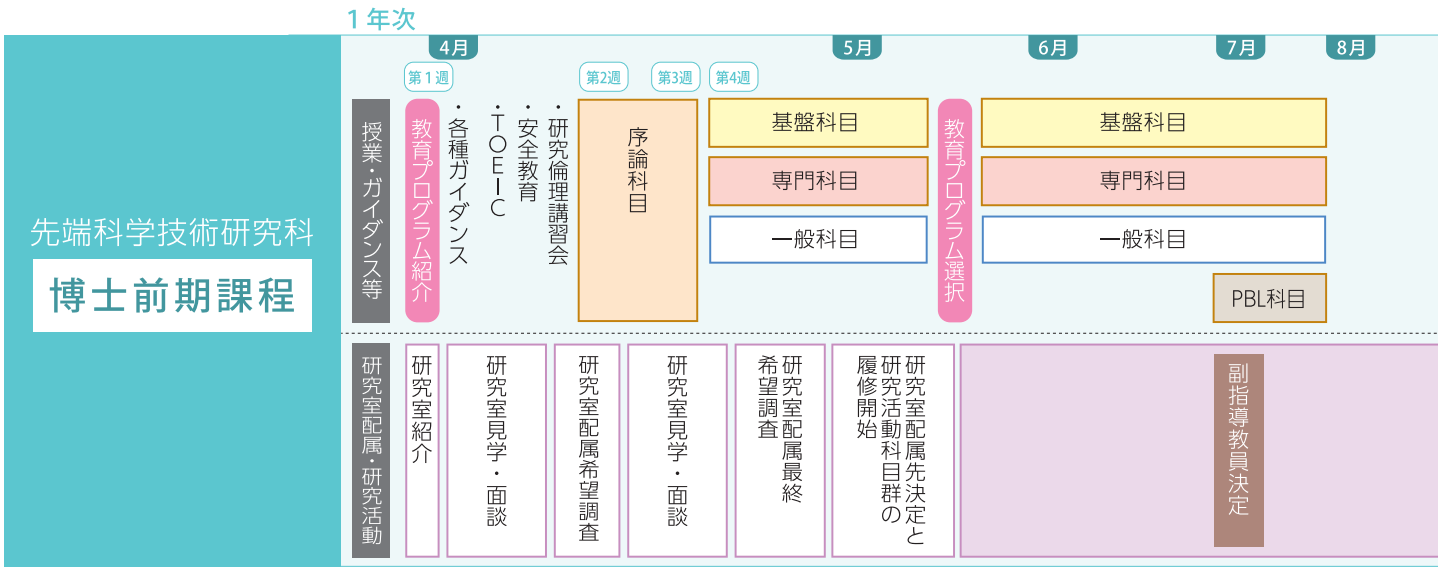
情報科学、バイオサイエンス、物質創成科学の融合プログラム

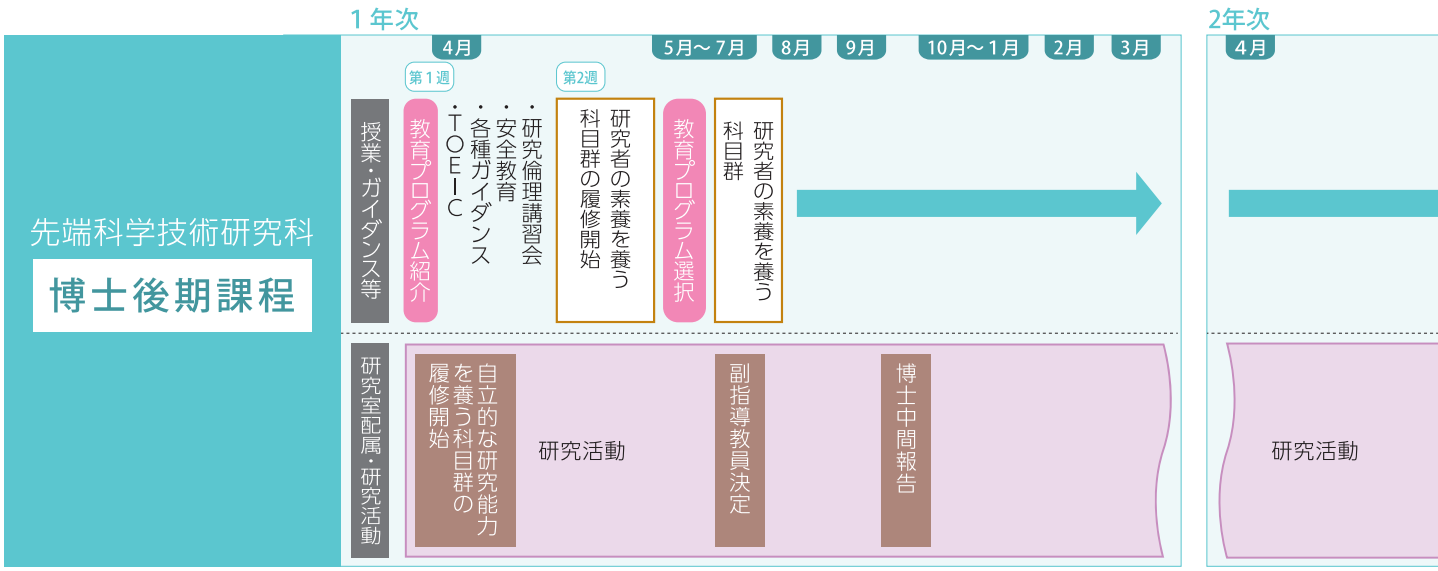
社会・経済を支える、情報科学、バイオサイエンス、あるいは、物質創成科学の高度な専門性と、それに隣接する融合分野、とくにグリーン分野とデジタル分野を包含する融合分野を理解できる広範な素養を持ち、社会全体を見渡す俯瞰的な視点から物事を考え、社会においてグリーン分野とデジタル分野において発展を続けるデジタルグリーン科学技術の活用やイノベーションを担う人材を育成します。

取得できる学位

修士・博士
（工学／理学／
バイオサイエンス）

ライフマップ（入学から卒業まで）





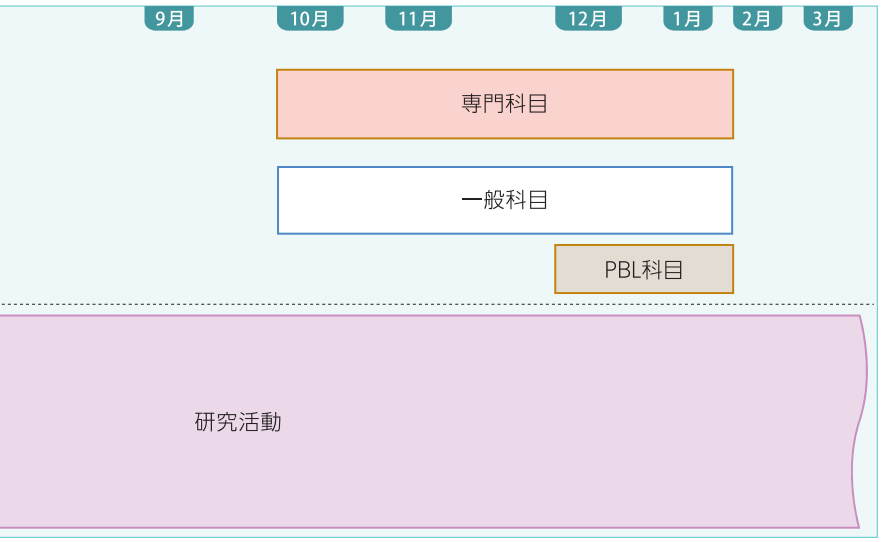
CHECK POINT

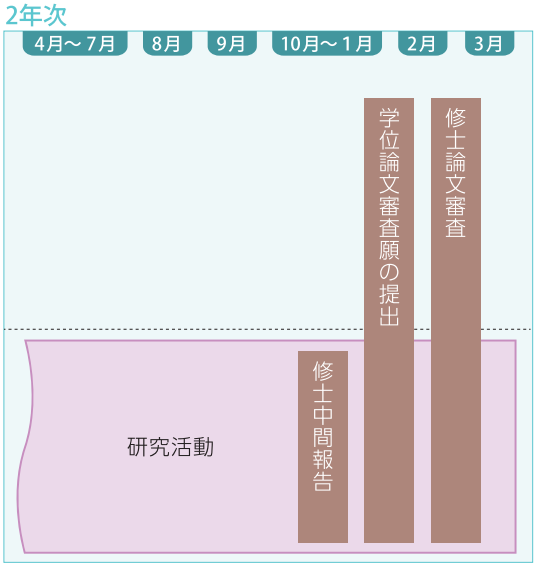
修業年限の弾力化

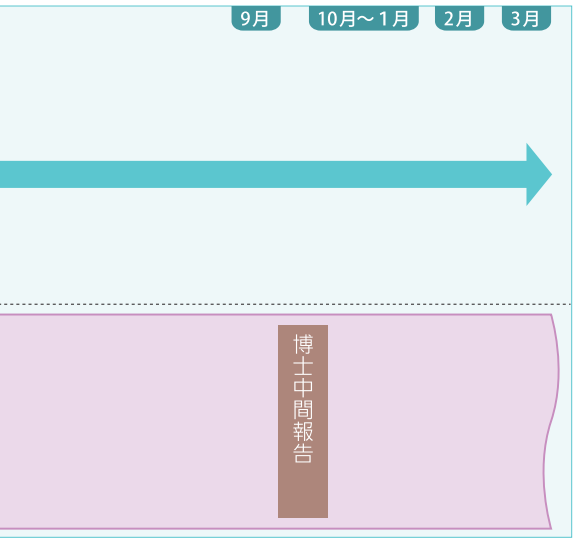
優れた研究業績を修めたものは、博士前課程期では1年以上、博士後期課程は博士前期課程を合わせて3年以上の在籍で終了できる短期修了制度があり、毎年本制度を利用する学生がいます。

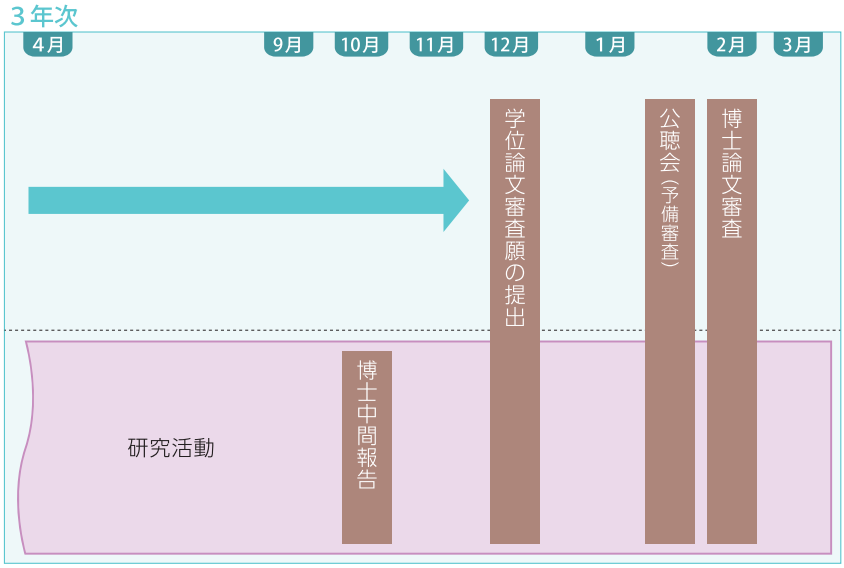
長期履修制度

職業を有している等の事情により、標準修業年限（博士前期課程：2年間、博士後期課程：3年間）で修了することが困難な者が、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に履修できる制度です。授業料総額は標準年限分と同額です。









＊標準的なスケジュールのため、若干前後する場合があります。

5年一貫コース

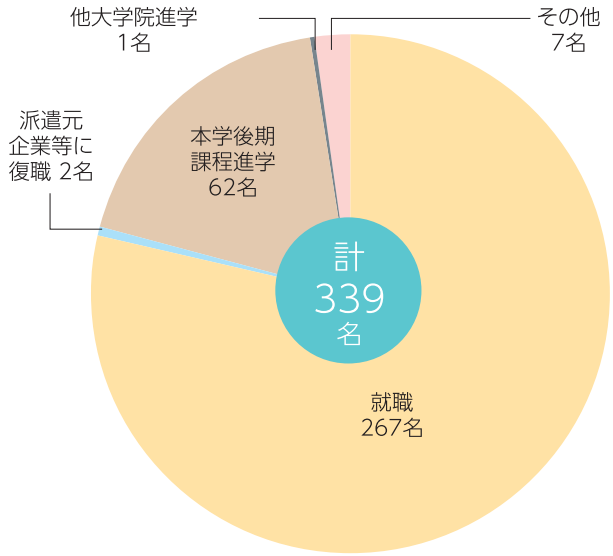
博士前期課程・後期課程の標準修業年限（5年）内で一貫した博士研究指導を行い、深い学識、豊かな想像力及び国際的視野を有する人材の育成を行います。5年一貫コース学生には、研究指導体制の拡充、経済支援、博士後期課程での長期の海外留学支援などさらに手厚いサポートがあります。

キャリアサポート

修了後の進路及び就職状況

優秀な修了生たちが、幅広い分野の企業や大学で活躍中

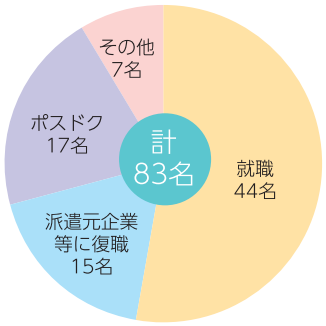
2020年度博士前期課程修了者　全体



就職率 100%

(就職希望者のうち)

2020年度博士後期課程修了者　全体



〈主な就職先〉

●アクセンチュア(株)	●(株)カネカ	●ダイキン工業(株)	●(株)日立製作所
●旭化成(株)	●関西電力(株)	●大日本印刷(株)	●(株)富士薬品
●AGC(株)	●京セラ(株)	●(株)東芝	●ヤフー(株)
●(株)NTTドコモ	●シスメックス(株)	●日清オイリオグループ(株)	●楽天(株)
●小野薬品工業(株)	●ソニー(株)	●パナソニック(株)	●ロート製薬(株)

※2021年4月1日現在

手厚いサポート

充実のキャリア相談体制

キャリアコンサルタントやメーカー/IT企業での採用経験者がアドバイザーとして、学生の皆さんのキャリア相談を受け付けています。

多様なキャリアアップセミナー

研究者/技術者としてキャリアを築く上で必要な素養・見識を高めるため、企業経営層やOB/OGとの交流会、社会人基礎力を身に着ける講座などを定期的に実施。

就職ガイダンス・業界研究会・企業説明会

学生の就職活動の時期に合わせてガイダンスに加えて、本学の研究分野に関連する企業との接点となるイベントを開催しています。

就職活動やキャリアを考える上で役立つ図書の貸し出しを行っています。
また、先輩方の就職活動体験記を閲覧することも可能です。

修了生からのメッセージ

西川　剛樹 さん

パナソニックR&Dセンターベトナム　社長
（パナソニックホールディングス株式会社　コーポレート戦略・技術部門　技術 企画室　在籍）

2005年　奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科博士後期課程　音情報処理学研究室　修了
2005年　松下電器産業株式会社（現パナソニック株式会社）入社　音響技術開発、HDコム開発に従事
2015年　音声翻訳端末開発に従事
2017年　要素技術開発センター　課長
2019年　同・部長
2020年　テクノロジー本部・AI技術センター　ヒューマンテックソリューション部　部長
2022年　現職

自らを変え、自らを創る環境に恵まれています

私は大学の恩師からのステップアップや視野拡大の勧めで奈良先端大に進学しました。博士前期/後期通して音の研究に携わりました。高い能力の先生や先輩から指導を頂き、共同研究にも恵まれ、やりがいを持って研究ができ、賞も頂くことができました。パナソニック入社後はHDコム（会議システム）の新規開発に携わり、奈良先端大での研究を商品に搭載することができました。オリンピックにも活用され、社会に役立つことへの嬉しさを実感しました。現在はパナソニックの音響技術開発の責任者をしています。前記経験で得た課題設定力、技術開発力、共創力を活かして社会へのお役立ちにチャレンジし続けています。成果を上げる起点は今までの自分を棚卸し、自らを変え、自らを創ることだと思います。奈良先端大はその環境に恵まれています。皆さまのチャレンジを応援します。

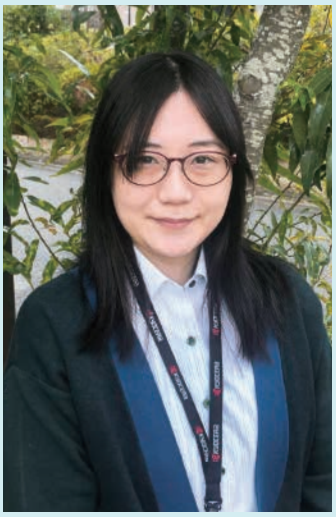
柴冨　妃那野 さん

一般財団法人日本食品分析センター　彩都研究所
薬事試験部　医薬理化学試験課

2021年3月　奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科博士前期課程　機能ゲノム医学研究室　修了
2021年4月　一般財団法人日本食品分析センター

ひしひしと自分の成長を実感できる環境が整っています

私は現在、分析業務に従事しています。当財団の業務をわかりやすく説明すると、お客様からお預かりした検体（主に食品）の栄養や機能、安全を確認するという内容です。前述のとおり、食品を主に扱っている当財団ですが、私が配属されているのは薬事試験部であり、医薬品を扱っています。製薬企業や化学メーカー様からご依頼を頂いており、今年度はCOVID-19に関連した検体が多く届きました。
現在は化学ですが、在学時はマウスやタンパクの研究に取り組んでいました。畑は違えど「なぜこの結果になったのだろう?」を考える力をつけてくれた奈良先端大での日々は、現在の私の血肉となっています。その高い研究力と育成力が自慢の奈良先端大は必ず人生に刺激を与えてくれます。また、全国から様々なバックグラウンドをもつ努力家が集まり、切磋琢磨しあえるのも魅力の一つです。ぜひ奈良先端大で自分の成長を実感してください。



東條　彩音 さん

京セラ株式会社
研究開発本部デバイス研究開発統括部

2017年3月　奈良先端科学技術大学院大学物質創成科学研究科博士前期課程　環境適応物質学研究室　修了
2017年4月　京セラ株式会社　半導体部品セラミック材料事業本部メタライズ事業部
2019年7月　同・研究開発本部デバイス研究開発統括部先進マテリアルデバイス研究所

奈良先端大で未来の自分発見

「大学院で研究したい!」高専専攻科卒業後の進学先に迷っていた時、学部がなくイチから研究が始められると紹介されたのが奈良先端大でした。幅広い分野かつ、社会貢献に繋がる最先端技術を研究できる点に惹かれ、門を叩きました。入学当初は諸先輩方の偉大な功績に気後れしましたが、先生方のお陰で日を追うごとに不安も焦燥も忘れ、純粋に楽しいと思える研究に没頭しました。日々研究の基本的な進め方は勿論、研究者の姿勢や社会人のマナーまで手厚くご指導いただいたことは、今でも大いに役立っています。現在、企業で研究職に就いている私は、新製品開発に取り組んでいます。困った時、悩んだ時にいつも立ち返るのが奈良先端大での学びです。ここで培った経験はテーマや分野を超え、就職後もそのまま活きています。変化の激しい昨今、研究者に求められることも多岐に渡ります。だからこそ最先端を走る奈良先端大で学び、価値ある未来の自分を発見して下さい。

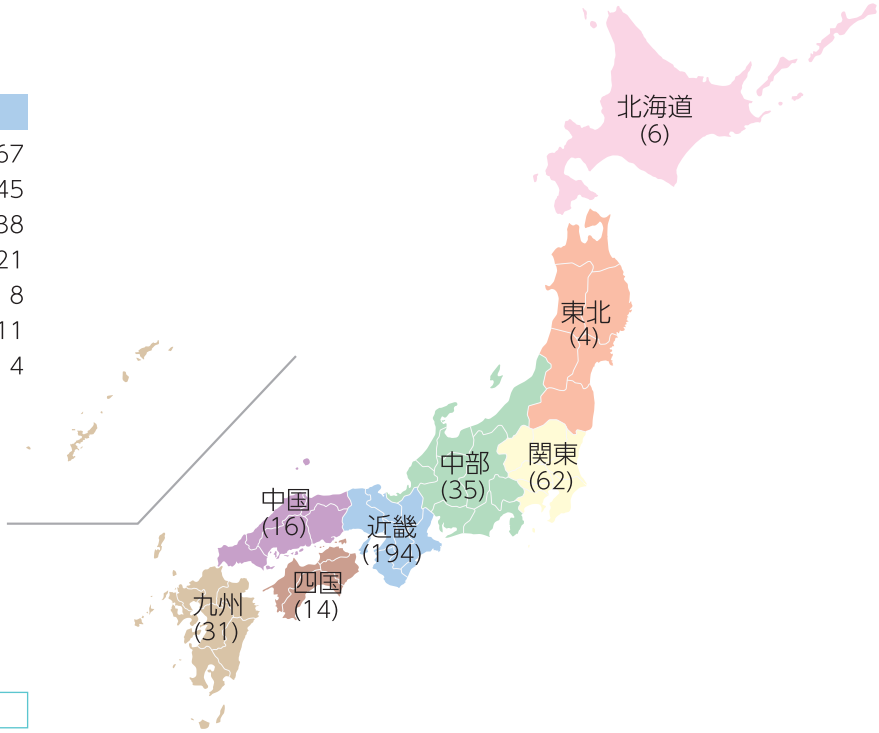
国内トップレベルのグローバルキャンパス

奈良先端大には、日本国内外を問わず様々な出身の学生が在籍しています。
また、日本国内であっても、大学卒、高専卒、有職者などバックグラウンドは様々で、
学部を持たない大学院大学のため、スタートラインは皆一緒です。

出身地内訳

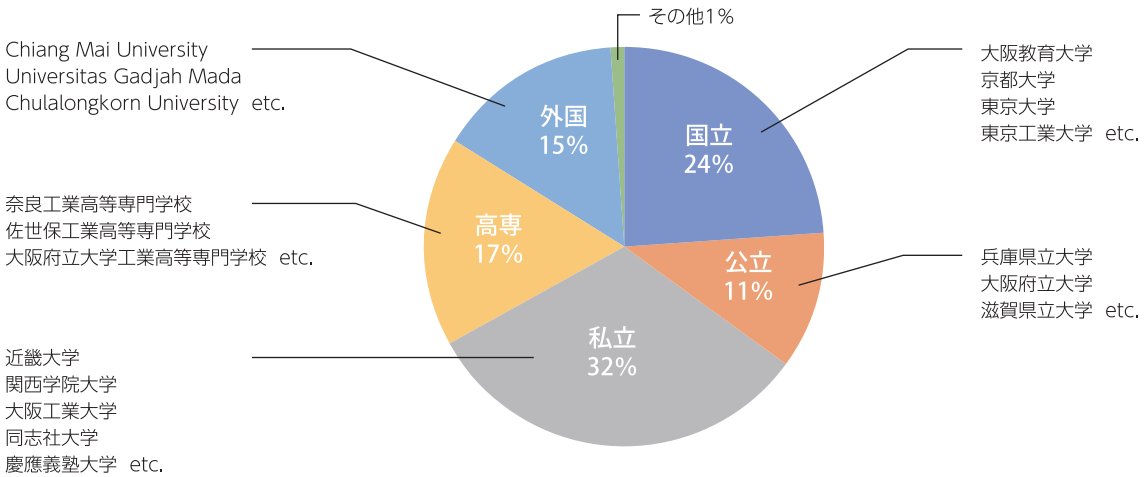
※2021年度入学者（単位：名）

近畿地区	
大阪	67
奈良	45
兵庫	38
京都	21
三重	8
滋賀	11
和歌山	4



海外							
中国	38	フィリピン	5	イラン	1	ブラジル	1
インドネシア	17	アメリカ	3	インド	1	ブルキナファソ	1
タイ	14	ベトナム	3	オランダ	1	ベネズエラ	1
マレーシア	10	フランス	1	コロンビア	1	メキシコ	1
韓国	5	ネパール	1	タンザニア	1		
台湾	4	パキスタン	2	チェコ	1		
バングラデシュ	3	アルメニア	1	ナイジェリア	1		

博士前期課程2021年度入学者出身校内訳



国際交流

IN	研究者受入	留学生
アジア	88	246
ヨーロッパ	26	14
北米	18	
アフリカ	2	13
オセアニア	8	
中南米	2	6
中東	1	1

NAIST

OUT	研究者派遣
アジア	164
ヨーロッパ	137
北米	117
アフリカ	4
オセアニア	15
中南米	3
中東	1

※2021年5月1日現在（単位：名）

交流認定校

アジア	58	オセアニア	5
ヨーロッパ	40	中南米	4
北米	8	アフリカ	2

※2021年5月1日現在（単位：校）

NAIST　TeaTime

このイベントではNAISTの学生・研究者・教職員が自国の代表のお菓子を紹介し、参加者に振る舞い、文化、歴史、趣味等に関する発表を通して、多国籍間の相互理解を深める場となっています。また、書道などの文化体験も行っています。

国際交流懇話会

本学の外国人留学生・外国人研究者と学長・理事、教職員、学生及び学外の交際交流団関係者等が交流を深めることを目的として実施しています。留学生が民族衣装を身にまとい、母国の歌や踊りを披露するなど国際交流の場となっています。

海外留学支援制度

本学と学術交流協定を締結している大学や研究機関を中心に1か月から数か月の期間、学生が海外の大学や研究機関に留学して海外語学・研究研修プログラムや海外研究インターンシップを実施しています。

先輩からのメッセージ

高専出身

小出　ゆり さん

【博士前期課程1年】　計算システムズ生物学研究室所属
奈良工業高等専門学校専攻科物質創成工学専攻卒業。
1年間のオーストラリア語学留学経験あり。

枠にとらわれない研究フィールドへ。

奈良高専では試薬や装置を用いた研究に取り組んでいました。大学院では入学前から興味を持っていたデータサイエンス手法によるAI創薬や生物学ネットワーク分析を行いたいと思い、本学の情報科学領域に進学しました。
奈良先端大へ進学を決めたきっかけは受験2ヶ月前の体験入学です。学生や教授の方々と話をしてみて、「大学院生活はここで研究生活を送りたい」と思いました。また、研究環境が充実していること、様々なバックグラウンドを持つ学生がいることが魅力だと感じました。
実際入学してみて、情報分野のバックグラウンドが乏しくても、学生の意欲に先生方は親身になって応えてくださるので感謝しています。もちろん、新規分野なので困難は多いですが、仲間と一緒に楽しく研究ができており、悩みつつも高いモチベーションで研究に取り組むことができています。
私が取り組んでいる化学(生物)×情報の融合分野はまだ完全に確立されておらず、これからどんどん面白いデータや手法によって分野が盛り上がると期待しています。私も未知のメカニズムや事象を明らかにすべく研究に精進していきたいです。

大学出身

黒﨑　真帆 さん

【博士前期課程2年】　物性情報物理学研究室所属
愛知県出身で、現在は一人暮らしと研究を両立させている。
立命館大学理工学部卒業。

お互いに関心を持ち、刺激し合う研究は楽しい。

立命館大学理工学部で取り組んだ研究は「紫外線励起研磨後のSiC基板の化学状態分析」でした。奈良先端大の研究環境の素晴しさは事前に少しは知っていましたが、実際にオープンキャンパスに参加し、充実度の高さを目の当たりにし、ここで研究ができるならと惹かれました。また訪問した研究室の先生や先輩方の雰囲気がよく、私もなじめそうと思ったこともポイントでした。
現在は「2次元量子井戸内の量子化により変化した半導体の有効質量の評価」を研究テーマにしています。計算の設定によってはエラーが起きることがあるため、いかに精度よくかつ計算コストを抑えて結果を出すかが大変です。しかし、成功したときの達成感はとても大きいです。
研究室では、自分とは異なるバックグラウンドの研究仲間とお互いの研究に関心を持ち合って切磋琢磨することが張り合いにもなり、楽しい時間にもなっています。留学生も身近にいるので、専門的な英文記述が必要なときは手伝ってもらいながら書き進めています。先生方の丁寧な指導も奈良先端大で研究する強みになると思います。
ここで身につけた専門的なスキルや行動力を生かして、将来は技術者として自動車業界を盛り上げていきたいです。

留学生

Ilboudo Wendyam Eric Lionel さん

【博士後期課程1年】　知能システム制御研究室所属
ブルキナファソ出身。
『ドラゴンボール』など漫画・アニメを通して、日本に行ってみたいと強く思い続け、留学を叶えた。

憧れの日本で研究に没頭。母国の技術発展に貢献したい。

博士後期課程に在籍しています。情報科学領域の知能システム制御研究室で、ロボットの操作が難しい環境でも最適な反応ができるよう、ロボットの補強学習の方法を発展させる研究を行っています。論文を発表することで人々の知恵に貢献でき、その論文がどこかの研究者に参考にされているかもしれないと思うととてもうれしいです。
日本はロボティクスや技術において先進国であり、また東京に比べて静かな古都であると知り、奈良に来ました。まだ日本語を流ちょうに話せませんが、学内にたくさんの留学生がいるので、英語でいつも話せる相手がいることはありがたいです。大学が定期的に企画してくれるイベントで、様々な文化圏の学生と一緒に、日本文化に浸ることができるのも楽しみのひとつです。
奈良先端大は学生の仲がとても良く、また、普段は一歩離れて見守ってくれている教授方も必要に応じて適切にケアしてくれます。私の研究室では、教授が気軽に学生室に入ってきて雑談をすることもあり、強固な信頼関係が築かれていると感じます。もっと研究をして、研究者としてキャリアを積み、機械学習アルゴリズムやロボットの分野で、私の母国の技術発展の促進に貢献したいです。

社会人学生

稲成　浩史 さん

【博士後期課程3年】　情報機能素子科学研究室所属
某化学系企業で研究職を務めながら、本学に在籍している。

企業研究では踏み込めない領域に踏み込める。

化学系企業で研究職に就いています。会社で開発している材料が用いられる電子デバイスについて、先端的な研究に取り組みながら、より高度な専門知識・スキルを習得したいと考え、進学しました。
「半導体デバイスの高性能化」の研究を進めていますが、会社とは異なる専門領域の研究ができること、企業研究ではなかなか踏み込めない学術的な領域の研究を遂行できることにやりがいを感じています。奈良先端大は社会人学生の受け入れに積極的ですし、社会人学生も奨学金制度を活用できるため、進学するにあたり家族からの反対はありませんでした。一方、社会人学生という立場上、時間のやり繰りには大変さを感じています。
私の研究の関連分野で先進的な研究を行っている著名な研究室があり、そのような環境もここで学ぶ意義のひとつだと思います。元々の専門である素材開発と、奈良先端大で習得中のデバイス開発の専門性を合わせて、新たなデバイスを生み出すことが当面の目標です。

博士後期課程の魅力

やりたい研究を、徹底的に。
本学、博士後期課程へ進学されるとさらに手厚いサポートのもと、
研究に没頭できる環境が用意されています。

学生宿舎への入居率100%

博士後期課程の学生のうち、学生宿舎への入居を希望する者に100%提供。

科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ※1を支給

本学に在籍する博士後期課程の学生のうち、優秀と認められる学生の処遇向上を図ることを目的としてフェローシップ(奨学金)を支給します。

優秀学生奨学制度

優秀な博士後期課程学生(毎年度15名以内)を優秀学生として表彰し、1年次授業料を全額免除。

社会人学生への奨学支援

企業に所属している学生の授業料全額免除又は奨学一時金20万円の給付を実施。

TA※2/RA※3優先採用制度

TA・RAへ優先的に採用することによって、授業料の半額分を支援しさらに個々の状況に応じ追加の支援を実施。

優秀学生奨学制度表彰式

※1 ティーチング・アシスタント(TA)…博士前期課程2年次以上の学生を対象として、将来教育者となる意欲と優れた能力を持つ学生に、教育者としてのトレーニングの機会を提供するため、TA制度を設けています。
※2 リサーチ・アシスタント(RA)…主に博士後期課程の学生を対象として、将来研究者となる意欲と優れた能力を持つ学生に、研究者としての研究遂行能力の育成を図るためRA制度を設けています。

もっと研究を―と考えれば、博士後期課程はメリット大

辻 茉佑香 さん

博士後期課程1年
情報科学領域 光メディアインタフェース研究室
九州工業大学 3年次中退(奈良先端大に飛び級入学)

奈良先端大は大学院だけの機関であるため、地元の九州から外部進学することに抵抗はありませんでした。充実した研究環境のおかげもあって、博士前期課程での研究は楽しかったです。一方で女性としての人生を考えたとき、20代後半の過ごし方は生涯キャリアを左右しかねないため、博士後期課程への進学はとても慎重に考えました。
博士後期課程の魅力はなんといっても、研究の裁量が格段に上がり、研究インターンや海外に行くことのハードルがぐっと下がるところにあります。研究というグローバルで抽象的なプロジェクトに対し、大きな裁量で取り組むことで、今後のキャリアにも活かせる汎用的なスキルが得られると判断しました。また、奈良先端大の経済的なサポートが手厚かったことも、博士後期課程への進学を後押ししてくれました。
このように、博士後期課程に進むにあたっては、経済面や人生設計、自分の能力への不安など、迷いをもたらす要素がたくさんあります。そのため、迷うことに後ろめたさなどは感じず、じっくり考えて選択するといいと思います。

やりがいも大変さも楽しみながら自分の研究をやりきるための選択

小田 歩美 さん

博士後期課程1年
バイオサイエンス領域 植物成長制御研究室
近畿大学 農学部 応用生命化学科卒

博士前期課程1年のときに研究の楽しさに目覚め、自分が納得のいくまで研究を続けてみたいと思って博士後期課程に進みました。博士前期課程とあわせて5年間あるので、やりがいも大変さも楽しみながら、じっくりと研究に取り組むことができています。また、博士後期課程進学者対象の優秀学生奨学制度や大学フェローシップ(生活費・研究費支給)に採用していただけたことで、学費など経済面で負担が軽くなり、助けられています。
私が取り組んでいるのは植物の成長に関わる研究です。奈良先端大に進学して以降、一貫して同じテーマで研究しており、将来、食料をはじめ、人の生活に役立つかもしれないと感じながら、これからも研究を続けていこうと思っています。博士後期課程進学を決断する前に、「よく考えて、いろいろな人に相談してみること」が大切です。博士後期課程のリアルな研究生活を想像したり、不安を解消したり、想像と現実のギャップを認識できたりする機会になると思います。

国際ジャーナルに論文が掲載されたことを自信に博士後期課程へ

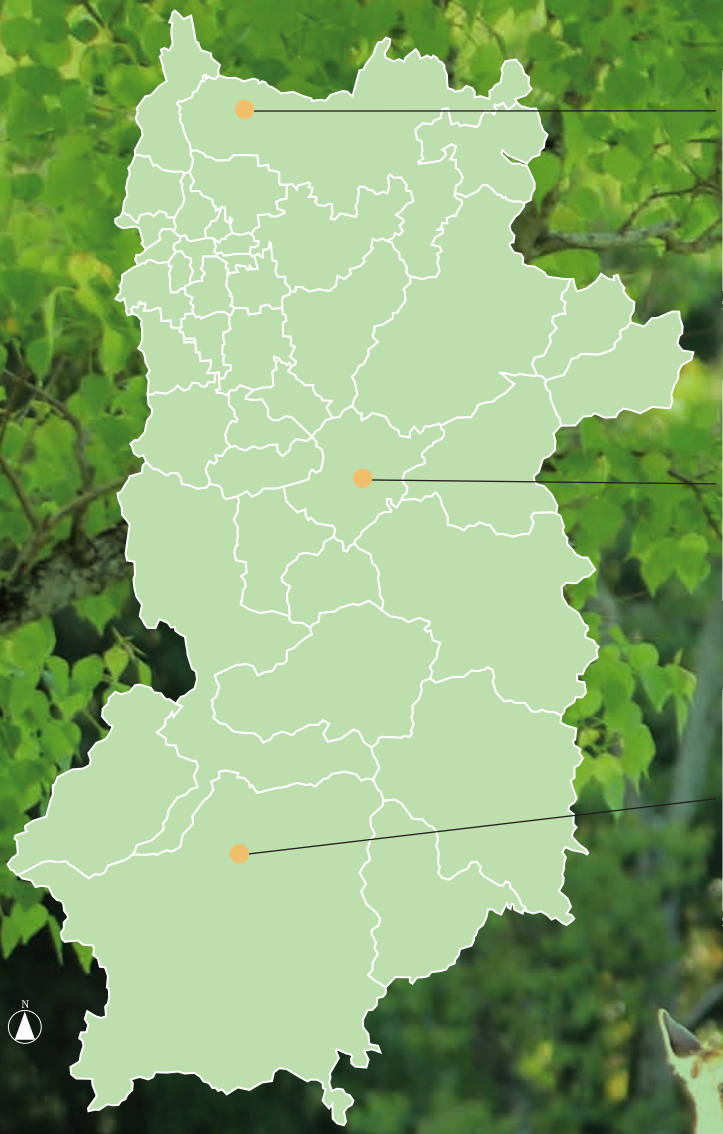
米澤 俊平 さん

博士後期課程2年
物質創成科学領域 光反応分子科学研究室
名古屋大学 理学部 化学科卒

合格したいくつかの大学院のうち、光科学の研究で日本の最先端である奈良先端大で研究することを選びました。元々、博士後期課程に興味はありましたが、博士後期課程の先輩方を見ていると、自分のレベルで大丈夫かと不安でした。転機は博士前期課程1年の1月頃。研究室内で自分の研究成果が認められ、国際ジャーナルへの論文投稿にチャレンジし、実際に掲載されました。研究が世界に認められた気がしてうれしかったのと同時に、自信がつき、博士後期課程への進学を決意しました。
博士後期課程では研究を自分でマネジメントできる点が一番の魅力です。博士前期課程までは大学および研究室の予算のなかで、試薬や機器の購入、学会参加費などをやり繰りしますが、博士後期課程では自分で予算申請を行い、その予算をいただくことで自由度の高い研究に取り組むことができます。就職しても自分の研究を突き詰めていきたいと思っています。博士後期課程を目指すのであれば、博士前期課程のうちに少なくとも一つは研究成果を出せるよう日々努力し、自信をつけて、進んでほしいと思います。

奈良で学ぶということ

奈良先端大は奈良県生駒市北部の自然豊かなエリアにあります。
近鉄沿線周辺には複合商業施設やレストランなどが点在し、
車や電車で足を運べば世界文化遺産の寺社を訪れることもできます。
在学生はゆとりと便利さを兼備した奈良という環境で研究活動に励んでいます。



写真提供:一般財団法人 奈良県ビジターズビューロー

【世界遺産】平城宮跡

奈良時代の都があった場所で、710年に遷都されました。
広大な範囲に第一次大極殿（復元）や朱雀門（復元）などを有しています。開放感がありのんびりと過ごせる奈良の観光スポットのひとつです。

吉野山の桜

全国的にも桜の名所として有名な吉野山。
シロヤマザクラを中心に約200種類3万本の桜が吉野山をピンク色に染め、その景色をみようと春には多くの観光客が訪れます。

写真提供:奈良県庁景観・自然環境課

谷瀬の吊り橋

長さ297m、高さ54mの日本有数のスケールとして有名な十津川村の吊り橋。
ゆらゆら揺れる橋を歩いてわたることができ、奈良県景観資産にも登録されています。

キャンパス周辺マップ

① 学研北生駒駅

② スーパーヤオヒコ北大和店

③ 学研奈良登美ヶ丘駅

④ ベーカリーレストラン サンマルク

⑤ イオン奈良登美ヶ丘

⑥ 高の原中央病院

入試情報(2023年度入学)

※博士前期課程入試についての案内です。
※入試実施方法、日程等については状況により、変更になる可能性があります。最新の情報は本学HPにてお知らせいたしますので、随時ご確認ください。

アドミッションポリシー

求める学生像

国内外を問わず、また大学での専攻にとらわれず、高い基礎学力を持った学生あるいは社会で活躍中の研究者・技術者などで、将来に対する明確な目標と志、先端科学技術分野に対する強い興味と意欲を持った人を求める。特に、物事を論理的に考えることができ、また、自分の考えが的確に表現できる力を持った人、旺盛な好奇心と何にでも挑戦する実行力を持った人を積極的に受け入れます。

入学者選抜の基本方針

左記資質を有する優秀な人材を国内外から選抜するため、入学者選抜は人物重視とし、面接試験を中心とした選抜試験を実施するとともに、推薦入試などの多様な選抜方法を実施します。

募集人員

先端科学技術研究科　博士前期課程　350名　※春入学者・秋入学者の合計です。

試験区分

情報科学区分　/　バイオサイエンス区分　/　物質創成科学区分

実施方法

●試験は、面接により下記のとおり1人20分程度日本語又は英語(出願登録時に受験言語を選択)により行います。
●面接の形式(受験場所)を、次の3つのうちから選択することができます。
{オンライン形式(※)／本学会場での対面形式／どちらでも可}
ただし、本学会場での受験には教室スペース等に制約があるため、受験する場所の希望については出願状況により意に添えない場合がありますので、希望者全員が本学会場で受験できるとは限りません。
●オンライン形式で受験しても、本学会場で受験しても、実施内容、採点・評価基準及び合否判定基準に差異はありません。

※オンライン形式の受験は、ウェブ会議システムWebexを使用します。

情報科学区分

①数学(代数、解析等)に関する口頭試問。
②提出された小論文及び出身専攻分野を考慮した情報科学関連の質問。
提出された小論文の写しの持込みは不可。

[数学出題範囲]
代数: 下記のChapter1からChapter 7まで。
Gilbert Strang, Introduction to Linear Algebra, Fourth Edition, Wellesley-Cambridge Press
日本語訳: G. ストラング, 線形代数イントロダクション, 原書第4版, 近代科学社
(なお、英語原書のFifth Editionでは、Chapter 1からChapter 8まで。)
解析: 下記の全範囲。
Serge Lang, A First Course in Calculus, Springer
日本語訳: S. ラング, 解析入門, 岩波書店

バイオサイエンス区分

①提出された小論文等に基づく3分程度の口述発表。
②提出された小論文に基づく、これまでの研究内容や興味のある分野についての口頭試問。
小論文に記載された、当該分野の基礎知識や理解度、説明能力などを問います。
③提出された小論文に基づく、本学において取り組みたい研究についての口頭試問。
提出された小論文の写しの持込みは不可。

[バイオサイエンス出題範囲]
本学入学後に研究したいバイオサイエンスの研究分野の基礎知識、研究内容について質問します。

物質創成科学区分

①提出された小論文に基づく5分間の口述発表。
②小論文及び発表に基づく出身専攻分野を考慮した物質科学関連の15分程度の口頭試問。
小論文のみ持込み可。小論文に記載した図や式は説明に使って構いません。

[物質創成科学出題範囲]
出身専攻分野を考慮した物質科学関連の基礎知識を問います。

入試情報の詳細(募集要項等)、
博士後期課程の入試情報については、本学HP『入試情報』をご覧ください。

入試日程

	【試験回】	【出願期間】	【選抜期日】	【合格発表】	【入学手続】
先端科学技術研究科	高専推薦選抜	2022.4.11(月)～2022.4.15(金)	2022.6.6(月)～2022.6.8(水)	2022.7.19(火)	2023年2月下旬(秋入学者は2022.9下旬)
	2023年春学期第1回 2022年秋学期第2回	2022.6.6(月)～2022.6.8(水)	2022.7.4(月)～2022.7.9(土)	2022.7.19(火)	
	2023年春学期第2回	2022.9.26(月)～2022.9.28(水)	2022.10.25(火)～2022.10.27(木)	2022.11.2(水)	
	2023年春学期第3回 2023年秋学期第1回	2023.2.6(月)～2023.2.8(水)	2023.3.8(水)	2023.3.13(月)	2023.3下旬(秋入学者は2023.9下旬)

※飛び入学による受験者については、上記合格発表日に仮合格として発表し、後日所定の手続きを経た上、あらためて合格者として発表します。
詳しくは学生募集要項を確認してください。
※高専推薦選抜については出願期間を適性審査書類提出期間、選抜期日を出願期間に読みかえてください。

試験形式　本学又はオンライン

2022年4月～

奈良先端大は、入試全てをオンライン出願に変更します！

オンライン出願

オンライン出願の流れ

オンライン出願登録
最初に、専用サイトで出願登録を行います。
https://e-apply.jp/ds/naist

検定料の支払い
登録完了後、検定料をお支払いください。クレジットカード決済、ネットバンキング等の利用が可能です。

証明書類の郵送
卒業証明書、成績証明書などの証明書類の原本を郵送してください。

郵送先
〒630-0192
奈良県生駒市高山町8916番地の5

受験票ダウンロード
登録アドレスに通知しますので、マイページからダウンロードしてください。

受験

オンライン出願の4つのメリット

申請書・願書の記入不要

クレジットカード決済
ネットバンキング
利用可能

申請・出願状況を
スマホやPCで
いつでも確認できる

出願期間中は
24時間支払いOK

学生募集イベント

本学への理解を深める一歩として、下記イベントを準備しています。ぜひ一度ご参加いただき、より納得して本学へのご入学を検討してください。

オンライン学生募集説明会

毎年度4-5月、8-9月、1-2月頃に実施しています。2020年度よりオンライン形式で実施しており、希望者は自宅等にいながら気軽に説明を聞くことができます。
教員による本学の説明はわかりやすいと人気で、また、わからないことがあればチャット機能等を使って質問し、リアルタイムで教員から回答を得ることができるので、大好評のイベントです。

https://www.naist.jp/admission/exam/recruitment.html

受験生のための オープンキャンパス

毎年度5月、2月に実施しています。2020年度、2021年度は新型コロナウィルス感染症の影響により「受験生のためのバーチャルオープンキャンパス」を開催し、参加者にはバーチャル世界の中にあるリアルにつくられた奈良先端大を散策しながら、教員や先輩学生との交流を楽しんでもらいました。
※今年度の開催（現地/オンライン）については現在未定です。決定次第、本学HPにてご案内いたします。

https://www.naist.jp/opencampus_ps/index.html

いつでも見学会

本学への受験を考えておられる方や、興味のある方向けに個別の研究室訪問を「いつでも」受け付けています。学生募集説明会やオープンキャンパスなどに参加できなかった方や、もっと詳しく研究室について知りたいという方におすすめです。
実際に本学にお越しいただき、研究室を見ていただくことができます。
※新型コロナウイルス感染症等の状況に応じて、オンラインでの対応となる場合もございます。

https://www.naist.jp/admission/exam/campustour.html

インターンシップ

インターンシップを通じて最新の研究設備が使用でき、本学の先輩学生や教員と直接意見交換をすることができる貴重な機会となっています。（詳しくは各領域のHPをご覧ください。）

▶情報科学領域
(http://isw3.naist.jp/Contents/Admission/nyushi-ja.html)
スプリングセミナー/サマーセミナー/インターンシップ

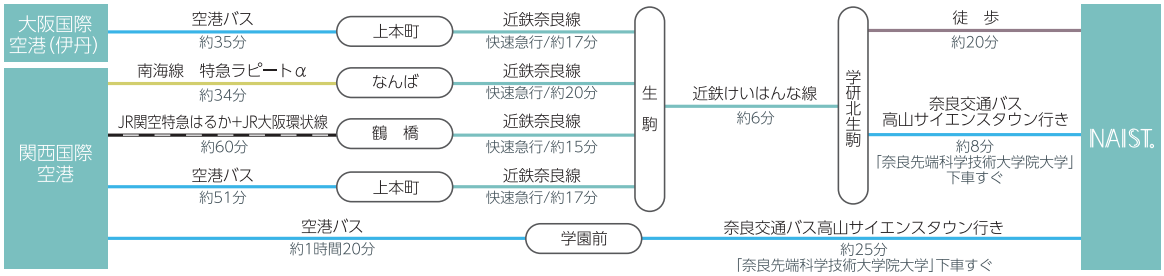
▶バイオサイエンス領域
(https://bsw3.naist.jp/entrance/events.html)
長期・短期インターンシップ/バイオ塾

▶物質創成科学領域
(https://mswebs.naist.jp/admission/recruitment.html)
高専インターンシップ

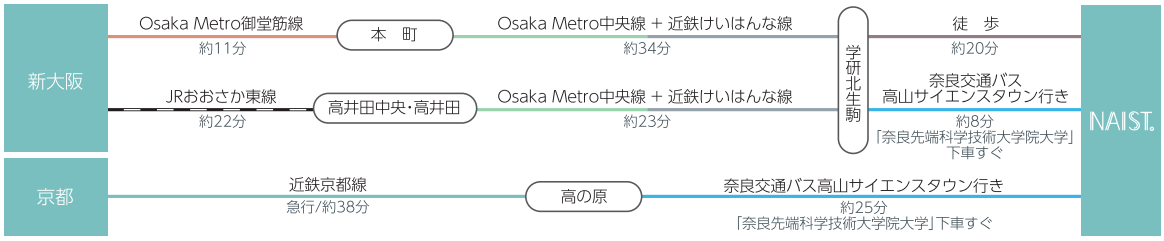
アクセス

詳細は本学ホームページ(https://www.naist.jp)をご覧ください。

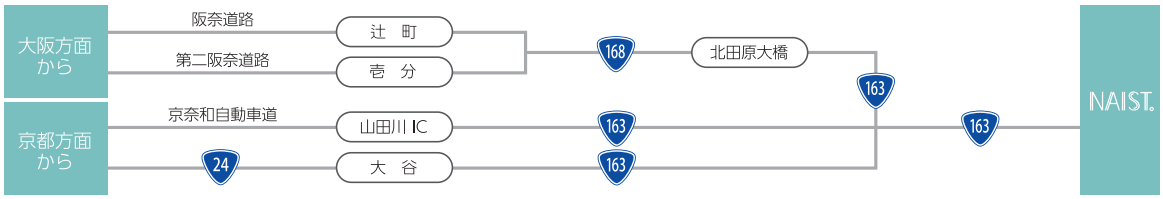
●空港から



●電車で新大阪・京都から



●車で大阪方面・京都方面から



無限の可能性、ここが最先端

— Outgrow your limits —

詳しくはWEBで

奈良先端大

https://www.naist.jp/

国立大学法人
奈良先端科学技術大学院大学
NARA INSTITUTE of SCIENCE and TECHNOLOGY